

平成29年度第6回安城市地域ケア推進会議

日時 平成29年9月21日（木）

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 副会長あいさつ

みなさま、ご多忙の中お集まりいただきありがとうございます。8月、9月につきましても各部会での研修会の開催がありまして、みなさまご苦勞様でした。本日は岡本会長が欠席のため、代わりに進行させていただきます。

岡本会長よりコメントをいただいておりますのでご報告いたします。

「この推進会議で発案がありました寸劇ですが、劇団サルビー見守り隊を結成し、ヘルパーネットの高橋様を団長として血のにじむ練習を積み重ねてまいりましたが、9月30日の市民公開講座でついに初演を迎えます。是非とも足をお運びいただければと思います。また翌10月1日の福祉まつりでも訪問看護ネットワークのブースで在宅医療の紹介が行われます。こちらのほうも是非お立ち寄りいただければと思います。」以上お伝えしました。

議題に入ります。本日も活発なご意見、宜しく願います。

2 議題

(1) 保健福祉部会検討内容の報告

岡田副会長)

保健福祉部会で検討した結果の報告。この検討テーマはデイネット部会から、地域で行われているサロン等の活動に介護職が協力できそうなことはないかを、地域の活動者の声をひろうことが出来る保健福祉部会の生活支援コーディネーターに検討を依頼したもの。

保健福祉部会・田中)

以前デイネット部会から何か地域のサロンで協力できることはないかという宿題をいただいた。保健福祉部会の中でサロン、通いの場の充実のために介護職が協力できそうなことを整理して生活支援コーディネーターから意見を出したものをここにまとめた。

→ (資料1) 安城市地域包括ケアシステムにおける各部会検討報告書 の通り。

○地域福祉マッチング交流会&サロン活動博覧会のチラシについて

- ・地域のニーズと資源の状況の見える化、またニーズとサービスのマッチング。関係者間のネットワーク化を目的として今年度の地域福祉マッチング交流会&サロン活動博覧会を開催する。
- ・開催日時、場所、内容はチラシの通り。
- ・すでに各事業所、施設に開催の案内文を送付している。新たな発表者、活動者の発見の機会としてご利用いただければ良い。また事業所のPRのための展示パネルを募集しているので是非ご協力をお願いしたい。当日のご参加もお待ちしております。

○福祉祭りのチラシについて

- ・開催日時、場所、内容はチラシの通り。岡本会長のコメントにもあったように訪問看護ネットワークさんにもご協力をいただきブースを設けている。是非お越し下さい。

岡田副会長) この報告を受けて、デイネット部会の意見、質問はありますか。

デイネット部会 清水)

○講師の無料派遣について

- ・どこの事業所も、特に小規模の事業所はスタッフ配置がぎりぎりです。スタッフを無料で出すことについては厳しい所が多いのでは。協力できる事業所と出来ない事業所が必ず出てくる。
- ・安城市内には70を超えるたくさんのサロンがある。協力できる事業所が近くにあるサロンには来てもらえるが、協力が難しい事業所がある地域のサロンには来てもらえない。
- ・提供する側も受ける側も格差が出てきてしまうのではないかとということを危惧している。
- ・一緒に検討させていただけたらと思っている。

○総合事業に関して

- ・ほぼ内容がサービスB（住民主体の通いの場）とD（移動支援）に相当するものなのかなとお見受けする。
- ・総合事業としてやるのか、助成なのか、どういう形でシステムを作っていくのかはまた考えさせていただけたらと思っている。

○有料となるとそれに見合う質の担保は当然作っていかなければいけないが、そういった場合質をどういう定義で担保していくのか、お金が発生するものに耐えられるサービスの内容をこちらで用意できるのかは持ち帰らせていただきたい。

以上三点を今後の継続課題として提案させていただきたい。

岡田副会長) 他にご質問はありますか。

⇒なし

岡田副会長)

○デイネット部会として研修会のテーマを地域と繋がるということを題目としている。その中で生活支援コーディネーターさんは地域との繋がり役もあるので今回こういった相談を持ち掛けさせてもらった。

○9月27日のデイネット部会の研修会では、事例などの報告を通じて、より地域と事業所の連携を深めていこうと思っているのでよろしくお願いします。

(2) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告（資料2）

岡田副会長)

8月の地域ケア推進会議で、研修会のアンケート結果を報告し共有することが決まった。アンケート結果の他、準備段階での苦労話や部会の皆さんの感想なども合わせてご報告いただけたらと思う。

○訪問リハネット部会

- ・参加者 121 名。リハビリの専門職が割と多目だったが、医師、看護師、相談員、地域の方にも参加していただき、当初の狙いだったいろいろな領域の方々にリハビリテーションの考えを知ってもらいたいということを広く届けることが出来た。
- ・ご意見・ご感想に関して
「社会参加の支援に関わる上で今の自分の課題を見つけることができた。」「作業活動の楽しさを感じる事ができた。」「社会参加を促していく事の重要性を改めて確認することができた。」
→リハビリ専門職目線の話は伝わりは良かったと思う。
- ・わかりやすさについてアンケートの結果「まあまあわかりやすい」が多く、難しい内容が入ってしまったか。今後活かせるかという設問に対して「活かせる」が半数程だった。もう少し打ち合わせが出来ればここは解決できたと思う。
- ・研修の反応について
「今後さらに健康格差が広がるのだと感じた。」「低所得者が閉じこもらずに社会へ出られる仕組みが増えるといい」という意見があった。アンケートで「視点が広がった」が大多数だったことから今回データを用いたことや違った視点から見ていただくという機会になったという点は狙った通り。
- ・感想
リハビリや社会参加を説明する時には根拠となるものは示しながらも実際に使える具体的な手段を丁寧にお伝えしていくことが今後の研修の課題と思う。

○グループホーム部会

- ・参加者 92 名。事前の打ち合わせでミスがあった。去年と同じ形だと伝えたが和田先生がグループホームの職員しかいないと思われてしまったようでグループホーム中心の話になってしまった。
- ・今後企画してほしい研修などについて
一番多かったのが「和田先生の話が分かりやすかった。」「来年も是非聞きたいです。」「ためになった。」という意見。これからも続けていけたら良いと思う。

○薬剤師部会

- ・参加者 82 名。想定よりも参加者が多かった。
- ・今回の特徴は、最初にケアマネット部会の木村様からケアマネージャーの目から見た服薬管理について（安城市の医療介護福祉資源を含めて）発表していただいた。その中で薬剤師に関するご意見、ご要望を承った。その後事例を発表した。その後ケアマネット部会から事例を出して、各中学校区ごとにテーブルを割り振り、その問題に関して話し合う機会を設けた。結構意見交流ができていて良かった。
- ・アンケート結果について。
ご意見・ご感想で、「薬剤師さんの専門的な話が聞けてとても勉強になった。」「在宅で活躍してもらわないともったいないと思った。」「薬剤師の方とお話する機会がなかった

のですが色々な話が聞けてよかった。」「普段触れない情報にたくさんふれさせて頂き、とても有意義でした。」とあった。一見お褒めの言葉だが、裏を返せばまだまだ薬剤師の参加が足りないというお叱りの言葉と思う。

- ・実際、薬局に勤めている立場としては空いた時間の中で在宅に向かわなければいけないので一人の薬剤師がやれる人数は自ずと決まっている。現状として薬剤師会に入っている薬局は65件。実際在宅を少しでもやっている薬局は12、3件に留まっている。できたらこういう意見を薬剤師会に持ち帰って、1薬局1人でも良いから新たに在宅に向向してもらえたらと思っている。
- ・このような研修会、とても勉強になった。来年度以降も同じように意見交流が出来たらとても良い。

○ケアマネット部会

- ・ケアマネット部会からの発表は、薬剤師さんと関わって助かっていること、困っていること、居宅療養管理指導料をどのようにしているかなど、前もって部会で意見を出し合い、それを元に発表した。安城市が今高齢化に向かっていること、独居の方が増えていること、認知症の方が増えているということで、飲み残しや、副作用がどうなのか、という薬の問題について事例を交えて発表させていただいた。
- ・夜間の研修にも関わらずたくさんの方が参加して下さった。グループワークでは要支援から介護申請をかけている認知症の独居の方の事例をとりあげた。立ち上がってワークシートに書き込むような姿も見られ、みんな一生懸命関わってくれているという姿が見られた。
- ・薬を一包化するとか、居宅療養管理指導で薬を正しく飲むようになるというという所が学習になったのかと思う。
- ・今後企画してほしい研修について、「続編をお願いします」「グループワークが良かった」「麻薬の管理などを多職種で話し合えるといい。」とあり、医療関係者の視点から話し合っていけるといいと思う。
- ・たくさんの方に参加してもらえ、よい研修会だったと思う。

岡田副会長) 3つの研修会についてご質問やご意見はありますか。

→なし

(3) 在宅医療ガイドブックについて (資料3)

事務局) 補足説明

- ・不要と思う項目について、「在宅医療と地域包括ケアシステム」「医療機関の機能分担」の2項目についてそれぞれ一件ずつ「不要」という意見があった。また、いくつかの項目について、どのような内容にしたら良いかというアドバイスがあった。
- ・追加したい項目について、何点か意見があったが、事務局案の項目に盛り込める内容もあった。
- ・項目については事務局案のままとし、今回いただいた意見を参考にして事務局で素案を作成し、今後の推進会議で内容を検討いただく。

連絡事項

(資料4について)

- ・部会検討報告書について、検討結果がまとまった部会から順次提出をお願いします。

(資料5について)

- ・1月13日多職種ワークショップ研修会は病院部会と医師会部会の合同主催に変更。
- ・2月19日訪問看護ネットワーク部会主催でケアマネット部会向けの研修会を追加。
- ・1月、2月の研修会について、日時、講師などが決まったら事務局にお知らせください。
- ・10月19日の歯科医師会部会の研修会について、口腔ケアの講義と実習で介護現場ですぐに活かせる内容。事前申込をお願いします。

○(事務局) 時間に余裕がある。議題についてご意見・ご質問、そのほか話し合いたいことはありますか。

(リハネット部会)

議題1の保健福祉部会検討内容の報告の中のサロンに関することについて

- ・「デイ利用者が外出レクリエーションとしてサロンに参加する」について、デイ利用者は自立支援を念頭に置いてやっていく。自立して地域に戻って行く先として地域のサロンとの関わりが密接になるのは今後これまで以上に必要なことではあるが、デイの利用者が外出レクとしてサロンに参加するのは制度上のハードルがあるのでは。
- ・ケアプラン上目的があり、プランの中に「お出かけ」を含んでいけば良いというのは見たことがあるが、こういう時にサロンをよしとするのかは行政の判断が大きく関わってくると思うが、どうなのか。自立支援を積極的にというのはいよしとしてもらえるとみんなが動きやすくなると思う。

(事務局)

- ・今ここで即答できることではないが、基本的にケアプランに位置づけがあるのが大前提になってくると思うが、その辺りの解釈も県によって違う。最終的には保険者の判断になってしまう。具体性を帯びてきた段階で、そういう方向性になればこちらも考えたい。今回は保健福祉部会としても要望を挙げたという状況なので実際にどういふうにやれるかはデイネットさんに話し合っていたということになってくると思う。

(訪問リハネット)

- ・訪問リハについても同じ課題がある。訪問リハはご自宅に行くのが原則。利用者が「地域の趣味の会やサロンに再び行きたい」となった時に、環境の把握や関わっていくための支援として、本当は本人が行く日に直接支援ができると、サロン等への結びつけがしやすく、訪問サービスを終了できる可能性が高くなると思う。基本にご自宅に訪問することになるので、ご自宅から移動して今後の行き先を見てみようとなると時間の限りもある。こういう部分も今後検討していただければ、訪問リハビリの終了の仕方、卒業の仕方が具体的に進めやすくなると思う。

(デイネット部会)

補足で言いたい。専門職がサロンに行ったり地域の活動の場において評価するという点

では、総合事業のサービスCという短期集中型のサービスが実質そこになっていると想定している。それをまず地域の他の事業所、地域包括支援センターとヘルパーネットにお邪魔して、短期集中型介護予防サービスでこういうことを趣旨としたものがあるという紹介、ご挨拶をさせていただいた。「隙間産業」じゃないけれど、メインの所だけではカバーしきれないというものが多々あると思う。デイネットで実際に既存の制度の中でそういうニーズにカバー出来る物があるのかを整理していかないといけない。サービス提供側としては「こういうサービスはこういう目的で、こういう人に使っていただきたい」ということを発信できるように準備しないといけないと思う。デイネットとして、通所リハ、特に生活相談員は地域資源を発掘してくるということも役割として明記されている。各事業所の生活相談員が整理していかなければいけないと思う。

(岡田副会長)

デイネット部会ではデイサービスとしてやれることを話し合ってきた。今回の保健福祉部会からの提案、ご要望、地域住民からの希望されていることについて、お互いマッチングが上手に出来ないと先に進んでいかないとすることが多々あると思う。今回検討した報告をいただきありがとうございます。今後も、これを踏まえてデイネット部会として話し合いをし、市にも相談しながら良いものを作っていきたいのでよろしくお願いします。

(ケアマネット部会)

在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方法 について。医師会部会と一緒に準備をしている。サルビー見守りネットが開始して1年経つ。安城市でアンケートをとり、今のような使われ方をしているのかという報告と、事例を二つ挙げて、こういう良い活用のしかたがあるということをシンポジウム形式でみんなに伝えられるようにしたい。全ての部会が対象になるので参加して下さい。

(衣浦東部保健所・保健師夏目)

いつも、オブザーバーとして参加している。本来は発言権が無いが、感想を述べさせていただく。安城市のこの会議は特徴的でとても進んでいるやり方。これだけたくさんの職種の方が集まって毎月やっているのは他には無い。他に見本のようにどんどん発信していったらいいというのが感想。

研修会の報告を伺って、自分が関った個別の事例の経験から、在宅で薬剤師さんに服薬管理をしていただいた事例で、認知症になりかかっている方で残薬が1~2ヶ月くらいあるという事例があった。服薬管理をし始めた途端へモグロビンエーワンシー（糖尿病の血糖のデータが2~3ヶ月前から分かるという値）が改善してきたという事例もある。こういう好事例を見える形にし、この会議のことも絡めつつ、サルビー見守りネットのことも関係学会に発表していただけると良いと思った。

連絡事項

【認知症を知る講演会】

日時：9月30日（土）午後2時から

場所：安城市文化センター マツバホール

○寸劇で知ろう認知症 劇団サルビー見守り隊

○講演「認知症とともに豊かに生きるために」

講師 武地 一 先生（学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学医学部認知症・高齢診療科教授）

【在宅医療・介護連携推進のための研修会】

①テーマ：地域と事業所（施設）との関係づくりについて

日時：平成29年9月27日（水）午後2時から

場所：市民会館大会議室

アドバイザー：清水 隆幸 氏（八千代リハビリデイサービス彩管理者）

発表者：渥美 智久 氏（デイサービスオレンジ）他2名

②テーマ：在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方法

日時：10月14日（土）午後2時から

場所：八千代病院 2階 大会議室

座長：岡本雅彦氏（アイムクリニック・安城）／木村恵美氏（ケアポート八千代）

③テーマ：口腔ケア研修会（事前申込み制）

日時：平成29年10月19日（木）午後3時30分から

場所：総合福祉センター 1階 会議室3

講師：板倉 直美 氏、中根 尚美 氏（公益財団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部）



次回 平成29年10月19日（木）午後1時30分～3時 社会福祉会館3階 会議室